

| | | | | | | | | |
|-------------------|---|--|--------------------|---------|--------------------|----------|--------------------|----------|
| 授業科目名 | 【G】 | 教職基礎演習Ⅲ | 区 分 | 開講年次 | 【G】1 | 単位数 | 【G】2 | |
| | 【H】 | 教職基礎演習Ⅲ | | | 【H】1 | | 【H】2 | |
| | 【I】 | 教職基礎演習Ⅲ | | | 【I】1 | | 【I】2 | |
| 科目区分 | 大学が独自に設定する科目 | | | | | | | |
| 授業形態 | 対面開講 | | | | | | | |
| 担当形態 | オムニバス | 【G】 | 教員の免許状取得のための選択必修科目 | 【H】 | 教員の免許状取得のための選択必修科目 | 【I】 | 教員の免許状取得のための選択必修科目 | |
| 施行規則に定める科目区分又は事項等 | 大学が独自に設定する科目 | | | | | | | |
| サブタイトル | 教科専門に関する基礎学力及び実践力の向上(Ⅰ) | | | 担当者 | 後藤雅彦・酒匂由紀子・小関勇次 | | | |
| 授業概要 | 【概要】 | <p>【実務(中学・高等学校教諭)経験を活かした授業】 中学校及び高等学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。</p> <p>【概要】 「社会科の教師をめざす」、それを支える学力の基本は、まず学校現場で使用する教科書の学習内容の理解である。単に、その用語を再暗記するのではなく、学習内容の行間に踏み込み、復習しなければならない。そのきっかけとして本演習ではまず課題を用意していく。次に、その成果を試すため、本学独自の取組である「清和大学社会科検定」(年間8回実施)を実施していく。本科目は通年で、成績評価は学年末に行う。</p> | | | | | | |
| | 【到達目標】 | <p>○課題を確実に復習していくことで、社会科の学力の基本を身に付けていく。</p> | | | | | | |
| 履修条件 | 中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科の教員免許取得を希望する者(全学年対象) | | | | | | | |
| アクティブラーニングの方法 | 【○】 | 事前学習型 | 【-】 | 反転授業 | 【-】 | 調査学習 | 【-】 | フィールドワーク |
| | 【-】 | 双方向アンケート | 【-】 | グループワーク | 【-】 | 対話・議論型授業 | 【-】 | ロールプレイ |
| | 【-】 | プレゼンテーション | 【-】 | 模擬授業 | 【-】 | PBL | 【-】 | その他 |
| ディプロマ・ポリシーとの関連性 | DP(ディプロマ・ポリシー)① | - (当てはまらない) | | | | | | |
| | DP(ディプロマ・ポリシー)② | - (当てはまらない) | | | | | | |
| | DP(ディプロマ・ポリシー)③ | ◎ (よく当てはまる) | | | | | | |
| | DP(ディプロマ・ポリシー)④ | - (当てはまらない) | | | | | | |
| 他科目との関連性 | 社会科・公民科指導法入門(2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅰ)、社会科指導法Ⅱ(2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅱ) 社会科指導法Ⅲ(2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅲ)、公民科指導法(2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅳ) 社会科・地理歴史科指導法入門(2023年度生までは地理歴史科指導法Ⅰ)、地理歴史科指導法(2023年度生までは地理歴史科指導法Ⅱ) | | | | | | | |
| 教科書 | 『中学校社会科教科書』(地理的分野・歴史的分野・公民的分野)東京書籍 ※令和3年度の中古本でよい | | | | | | | |
| 参考書 | 必要に応じて紹介する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 「清和大学社会科検定」への参加状況・点数及び課題の提出状況により、総合的に評価を行う。 | | | | | | | |
| フィードバック方法(※) | 検定後及びClassroomでのコメント | | | | | | | |
| 評価基準 | 日々の課題や「清和大学社会科検定」について、よく理解して取り組んだ者には「S」または「A」を与える。学習内容についての理解や取組に不十分な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、取り組む姿勢が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。 なお、「清和大学社会科検定」全8回のうち、延べ3回以上受験をしなかった場合は、欠席理由に関わらず「D」とする。 | | | | | | | |

| 授業 科目名 | 【G】 | 教職基礎演習Ⅲ | 区 分 | 開講年次 | 【G】1 | 単位数 | 【G】2 |
|-----------|--|---------|------|------|------|-----|------|
| | 【H】 | 教職基礎演習Ⅲ | | | 【H】1 | | 【H】2 |
| | 【I】 | 教職基礎演習Ⅲ | 【I】1 | | 【I】2 | | |
| 授業内容 | <p><Ⅰ. オンライン授業、日程後日> 中学校社会科教科書を基本、発展とする学習課題や問題内容に対し、まずオンライン動画により説明を聞いた上で、各自が期日までに各課題を自宅で解答し提出をする。</p> <p><Ⅱ. 対面授業、全8回、日程後日> 「清和大学社会科検定」の受験。上記「オンライン授業」による復習や、各自の教員採用試験を視野に入れた学習の積み上げがどうかを試す機会とする。必要に応じて解答に対する解説や、教員採用試験全般に関する情報提供や注意喚起を行う。</p> | | | | | | |
| 予習内容 | <p>【オンライン授業】教科書の該当範囲の予習 【対面授業】該当範囲の復習整理による社会科検定の受験準備 ※授業ごとの予習時間は90分程度を目安とする。</p> | | | | | | |
| 復習内容 | <p>【オンライン授業】課題提出と復習のためのノートづくりを進める。 【対面授業】各自の採用自治体の傾向と対策のためのノートづくりを進める。 ※授業ごとの復習時間は90分程度を目安とする。</p> | | | | | | |
| その他 | <p>・初回にガイダンスを行い、授業の範囲や進め方、評価について説明するので、必ず出席すること。 ・対面授業の順番は、授業内容によっては変更することがあり、その場合は事前連絡をするが 毎回実施日時を確認すること。 ・本科目は「通年科目」となり、成績評価は学年末に行う。</p> | | | | | | |